

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	岐阜県外国人コミュニティリーダー等育成事業							
団体名	(財)岐阜県国際交流センター							

\*\*\*\*\* 事業のポイント \*\*\*\*\*

- ・地域の担い手として、マネジメント能力を持つ外国人コミュニティリーダー及び外国人コミュニティと地域社会を繋ぐ日本人による活動の創出。
- ・キーパーソンとなる在住外国人の発掘・育成。また、その人達自身のコミュニティにおける課題分析やマネジメントを学ぶ。
- ・研修参加者の中から希望者に対し個別コンサルティングを実施し、具体的な事業の進め方などのアドバイス。

助成年度 区分	平成22年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	1,410千円
------------	-----------------------	------	---------

事業の内容、成果等

●事業実施の背景

アメリカの金融機関に端を発する経済危機により、非正規雇用で就労していた外国人住民の多くが職を失い、住居や子どもの教育機会まで失うこととなり、在住外国人の生活を脅かす深刻な状況をもたらしているが、他方で、多くの外国人が岐阜県内の生活を希望している。

岐阜県においては、外国人集住都市として多文化共生の推進の必要性が高いにもかかわらず、多文化共生分野におけるNPO等の活躍は脆弱であり、専門性を持ったNPOもほとんど存在しないのが現状である。

外国人住民が地域で生活し、仕事をしていくために、外国人住民の自立支援を促進し、個人単位ではなく団体として、外国人住民自らが直面する課題の解決に取り組む「外国人コミュニティ」の育成が重要であるとともに、こうした団体が地域で定着するような環境を整備することが重要である。

このような背景から、「外国人コミュニティ」のリーダーになり得る人材の育成を行う事で、当該コミュニティの育成と、安定して活動できる環境整備を目指し、本事業が企画された。

●目的

外国人コミュニティリーダーの育成に力点を置きつつ、非営利組織のマネジメントに関する研修を開催するとともに、具体的な事業立ち上げへのコンサルティングを実施することにより、地域の担い手として、マネジメント能力を持つ外国人コミュニティリーダー及び外国人コミュニティと地域社会を繋ぐ日本人による活動を創出し、岐阜県における多文化共生社会の形成を一層進めていく。

●内容

1 岐阜県外国人コミュニティリーダー等育成研修

キーパーソンとなる在住外国人の発掘・育成を行い、地域における外国人コミュニティ活動の創出や育成を図るための研修を開催した。地域活動に関心がある岐阜県内在住の外国人住民など、5ヶ国26名が参加し、全3回の研修に熱心に取り組んだ。

■開催日時:

【第1回】平成22年8月8日(日) 10:00~16:00

『課題を正しく認識して、事業を組み立てる方法を学ぶ』

- ・オリエンテーション
- ・事業計画の基本的な要素と組み立て方
- ・課題分析の手法
- ・外国人コミュニティによる活動事例発表

【第2回】平成22年8月22日(日) 10:00~16:00

『活動に必要な人材と資金を調達する方法を学ぶ』

- ・人材の確保とマネジメント
- ・資金確保の方法と収支決算書
- ・「コミュニティ・ビジネス」の事例発表

【第3回】平成22年9月12日(日) 10:00~16:00

『活動を広め、深めるマネジメント方法を学ぶ』

- ・事業提案書の作成とプレゼンテーションの手法
- ・業務と広報のマネジメント技術
- ・事業評価の方法

■講師：一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎氏

(特活)ブラジル友の会 理事 金城エジウソン氏

(特活)多言語センターFACIL 代表 吉富志津代氏

(株)ジオコス 取締役 平田節子氏

■開催場所：岐阜県県民ふれあい会館409特別会議室

■参加人数：ブラジル13人、フィリピン4人、中国3人、日本5人 計26人



## 2 個別コンサルティング

研修終了後、希望の受講者に対し、実際のコミュニティの活動に繋がるように、立ち上げや運営についてのコンサルティングを専門家より4回に分けて行った。

【第1回】日 時：平成22年10月31日(日) 10:30~16:00

場 所：県民ふれあい会館408会議室

参加者：3名(ブラジル人名、中国1名、日本1名)

【第2回】日 時：平成22年11月 6日(土) 10:30~12:00

場 所：美濃加茂多文化交流センター

参加者：1名(フィリピン1名)

【第3回】日 時：平成23年 1月14日(金) 18:30~20:00

場 所：美濃加茂多文化交流センター

参加者：3名(ブラジル1名、中国1名、日本1名)

【第4回】日 時：平成23年 2月13日(日) 10:30~16:00

場 所：県民文化ホール未来会館小会議室

参加者：3名(ペルー1名、中国1名、日本1名)



### ●工夫点

3回の研修において、自身のコミュニティにおける課題分析やそのマネジメントを学び、希望者に対し個別コンサルティングを実施することで、具体的な事業の進め方等をアドバイスし、必要な関係機関との連携を協力した。

### ●苦勞した点

研修・個別コンサルティングを通じ、課題に対応する関係機関への調整が大変であった。地域に密着した事業を展開する場合、その地域の関係する行政機関や団体・自治会等への協力依頼を行う必要があり、時間と労力を要することを痛感した。また、入国管理制度や雇用体制等の解決が困難な課題もあり、適切なアドバイスを与えることが難しい状態であった。

### ●成果

研修を通じて、地域でキーパーソンとなる外国人自身が、事業計画の作り方、活動のマネジメント等を学ぶことができ、日本社会にアクセスしにくい外国人にとって、日本における活動のきっかけとなり、大変好評であり、有意義な事業であった。また、外国人住民自らが直面する課題の解決に取り組む活動を推進することにより、外国人の自立支援を図ることができた。外国人コミュニティ等が主体となって、医療通訳サービス、在住外国人の子どもたちの放課後学習支援、日本語交流教室の立ち上げ、中国人の子ども向けの母語教室など、具体的な活動に繋がりつつある。H23年度には、本事業の個別コンサルティングを受けた2団体が、外国人相談窓口支援センターの地域毎の設置や、外国人の子ども達を対象に放課後学校支援教室の開催をするなど、団体が主体となってコミュニティ活動を展開しており、事業で育成されたリーダーの成果が上がっている。

### ●今後の課題

コンサルティング等を受け、事業を始めようとする方々へのフォローアップが課題。制度的な課題も多いため、直ぐに対応することが困難な場合があるため、そのようなケースへのフォローアップを如何にしていくかが課題。